

次期総合計画長期ビジョン素案の概要

第1章 時代の潮流と宮崎県

潮流1 人口減少・超高齢化の進行

(将来課題)

- 生産年齢人口の減少による社会経済、暮らしの維持が困難化
- 社会保障費の増加や税収減による財政の硬直化
- 人口減少・高齢化が当面続くことを前提とした社会づくり

潮流2 気候変動・自然の脅威

(将来課題)

- 本県の強みを生かしたゼロカーボン社会づくり
- 温暖化による農林水産業への影響
- 災害の頻発化・激甚化に対応した防災・減災対策の強化

潮流3 価値観や行動の変化

(将来課題)

- 新しい多様な価値観に沿った県づくり
- SDGsを重視したライフスタイル、経済活動への転換

潮流4 デジタル化・先端技術の進展

(将来課題)

- 人口減少に伴う諸課題に対応する先端技術の積極的な活用
- 産業分野におけるデジタル化の推進による生産性向上、競争力の強化
- 先端技術を開発・運用できる人材の育成と情報通信基盤の早急な整備

潮流5 世界の中の日本・宮崎

(将来課題)

- 国内市場が縮小する中、拡大する世界・アジア市場の活力の取り込み
- 世界的な人口・資源問題や環境問題への対応
- 在留外国人の増加に対応した社会づくり

第2章 目指す将来像

温暖な気候や豊かな自然、神話を源流とする歴史や文化、食やスポーツ環境など、宮崎の良さや魅力を生かしながら、誰もがゆたかさを感じ、楽しさや幸せにつなげることができる県を目指す。

将来像1 一人ひとりがいきいきと活躍できる社会

豊かな自然や子育てしやすい環境の中で、多くの子どもが生まれ育ち、UIJターナー者も増えている。

先人たちから受け継がれてきた歴史や文化など地域の営みに深い理解を持ち、グローバル・デジタル社会を生き抜く力を持った若者が増えている。

学び直しの仕組みが整い、年齢や性別に関わらず、個々の価値観が尊重されながら活躍できる場が広がっている。

将来像2 安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会

集落同士が生活に必要な機能やサービスを相互に補完・連携し合い、中山間地域であっても安心して暮らすことができる。

豊富な太陽光やバイオマスなどを活用した再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、環境負荷の低いライフスタイルが実現している。

生活を支える交通の利便性が確保され、市街地の賑わいが創出されている。

将来像3 力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会

先端技術を活用した新たなイノベーションや生産性の向上によって、成長産業が県内各地に展開するとともに、地域内での経済循環が図られている。

職・住・遊近接の恵まれた環境の中で、個々の能力や技術を生かした時間に縛られない柔軟な働き方が定着している。

全国トップクラスの豊かな食や自然、スポーツ環境の魅力を生かして、県外・国外との交流が増加することで経済が活性化している。

第3章 目指す将来像の実現に向けた今後の方向性

【基本的な考え方】

宮崎の未来 = 独自の魅力・価値 × 5つの要素 = 新たな価値の創造

【未来に必要な5つの要素（キーワード）】

① デジタル・先端技術・イノベーション

地域課題解決に向けた新しい技術の実装、創造

② 持続可能性（サステナビリティ）

経済、社会、環境の調和を基軸とした価値観への転換

③ 人材力

郷土愛やチャレンジ意欲の醸成、多様な価値観の寛容・包摂

④ 地域力

地域間の連携・役割分担、経済循環

⑤ きずな・つながり

人のつながりの尊重、互惠・補完

【今後の方向性】

1 人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持

- デジタル技術の活用や地域機能の連携・集約による暮らしの維持
- 情報通信環境やデータ関係基盤等の整備・運用
- 防災、減災機能の維持・強化
- エネルギーの地産地消、シェアリングエコノミーの導入
- 活力と新しい知見・価値観をもたらす関係人口の創出・拡大 など

2 暮らしを支え、未来を拓く産業づくり

- 新しい技術による高付加価値な新ビジネスの創出
- 地域の特性を生かした稼げる産業振興や県内企業の育成
- 地域内経済循環と外貨の獲得、海外市場の開拓
- デジタル化、国際化に対応した人材の確保
- 県内外の観光客が感動する観光地域づくり など

3 人生を豊かに過ごせる地域づくり

- 健康や生きがいを実感できる自然・スポーツ環境の充実
- 人々が集い、様々な活動を楽しむ賑わいや居心地の良い空間づくり
- 誰もが文化に親しめる機会や交流の創出
- 県民や企業、NPO、自治会など多様な主体との協働による地域づくり など

4 将来の人口安定化に向けた社会づくり

- 出会いから結婚・出産・子育てまでの切れ目ない支援体制づくり
- 女性が働きやすい職場づくりや男性の家事参加の促進
- 若者、女性の県内就職・定着やUターンを促進する郷土愛の醸成
- 場所にとらわれない働き方を促すテレワーク、ワーケーション環境の整備 など